

質問11 MTDLP 普及のための効果的な戦略について

(該当箇所:p.14-17、23、32 平成 30 年度事業計画::生活行為向上マネジメント)

MTDLP の普及を今後も進めていく必要性を感じています。普及の主体が都道府県士会となることはとても良いことと思いますが、どうしたら会員が活用するのかについての戦略について協会より説明を願います。「事例の登録数が少ない」「様々な分野での事例の集積がない」「マニュアル不十分」「ガイドライン不十分」「養成教育が不十分」「一般への広報不足」等の課題を解決すると会員の MTDLP 普及が進むというお考えでしょうか？ それも大切ですが、会員への普及が進まない本質をアセスメントして、極めて具体的で効果的な手法で個別に解決する姿勢が求められておりませんか？ 例えば使えないと言っている施設や個人の所に向いて個別に相談に乗って、現場の課題を解決するなどの手法はいかがでしょうか？ ただそれを行うにはスキルと予算と時間と人手が必要なので、各都道府県士会がバラバラにこれらを行うのは効率的ではないと感じています。この手法は一意見でしかありませんので、それ以外でも結構ですので、具体的で効果のある戦略をお願いします。

回答

MTDLP 指導者認定の経緯を踏まえ、回答させていただきます。平成 26 (2014) 年度の生活行為向上マネジメント推進プロジェクト特設委員会にて、地域における作業療法の機能と役割を明確にし、地域ケア会議等に参加するなど、地域包括ケアに的確かつ効果的に貢献できる人材の育成を目的に、MTDLP 熟練者の養成を検討しました。

MTDLP 熟練者の要件は、事例報告登録制度において MTDLP を用いた事例が 2 例合格していること、MTDLP を多職種に説明できることであり、想定するキャリアは、入会后 10 年程度(将来的には 5 年位で)としておりました。また、各都道府県作業療法士会(以下、士会)の担当者を推進委員として委嘱し、各士会において MTDLP を会員に啓発普及し、協会と連携を図り、士会における生活行為向上支援に関するリーダーとして活動することを役割としてお願いしてきました。

上記の経過を受け、第二次作業療法 5 ヶ年戦略、「MTDLP 新たなグランドデザイン第 2 期事業計画(2015~2017)」にて、平成 27 (2015) 年 7 月に MTDLP 研修制度を創設し、熟練者の位置づけを「MTDLP 指導者」として、「MTDLP を実践・推進・指導できる者」と定義しております。

MTDLP 研修の構造は、基礎研修を 420 分の座学とし、実践者研修はマニュアル等を活用した自習形式を 120 分、対象者への実習形式を 1,500 分と定めております。実践を報告する機会である事例検討会にて、MTDLP 指導者等ファシリテーターの下で事例発表することにより MTDLP 研修の修了証を発行しております。

5 年間の特設委員会の取り組みの中軸は、MTDLP 研修制度の確立とその運用を担う各士会でのシステム化、MTDLP 実践事例の集積を同時に推進したことです。生涯教育に位置付けられて 3 年、質の高い事例報告は職場単位や士会単位での積極的な活用も増えています。

MTDLP 研修修了後、MTDLP 指導者を目指すことが、MTDLP の普及啓発の極めて重要な戦略と考えております。MTDLP 研修制度の数値目標および MTDLP 指導者認定方法の見直しについては、「質問 8」に対する回答をご参照ください。

また、医療・介護連携に資するためのリハビリテーション総合実施計画書の様式が見直さ

れ、計画書の任意項目には、協会が作成した生活行為向上アセスメントが含まれることとなりました。MTDLP の手法を通し国民の健康に寄与するためには、会員一人ひとりの実践が問われてくると考えております。

ご指摘の通り、個人と職場（OT 部門、リハ部門、事業単位）における MTDLP の理解力・実践力、MTDLP を活用する意識などに課題があると考えられます。会員個人は研修履修することはもちろん、マニュアルなどを参考に一つひとつ実践を重ねることが重要であります。

これらの課題を踏まえ、各士会を中心とした事業展開には、MTDLP の実践・指導・推進を中心になって担う MTDLP 指導者の活躍が不可欠となります。

平成 30（2018）年度より日本作業療法士協会事務局内に「MTDLP 士会連携支援室」が設置され、各士会の実情やその課題を共有する体制を整えてまいります。MTDLP 士会連携支援室の活動として、機関誌『日本作業療法士協会誌』、協会ホームページを介し、会員個人への情報を配信する予定です。また、5 月 12 日の第 8 回 MTDLP 全国推進会議では、推進委員へ各士会での戦略（方法）を練っていただきたい旨をお伝えしたところです。

MTDLP の推進機能と MTDLP 指導者の育成は、士会が主体的に図れるような仕組みが始まってきております。